

平成二十四年七月十五日(日)午後二時始
於 京都観世会館

第十一回 吉田後援会能「花の能」

話

「継体天皇」と「照日ノ前」

文学博士
木谷真紀子

仕舞

清経 クセ 井上裕久

地謡

武田大志
浅井通昭
勝部延和
深野貴彦

能

子方
吉田和史
吉田篤史

花

吉田潔司 江崎敬三
江崎金治郎
和田英基
松本義昭

石井保彦
曾和尚靖

森田保美

後見
橋本光史
橋本雅夫

地謡

武田大志
松野浩行
浦部幸裕
浅井通昭

吉浪壽晃
宮田宏之
井上裕久
橋本擴二郎

附祝言

終了 四時頃

【お客様へお願い】

◆テレビ録音・ビデオ撮影はお断りします。◆事務局で許可した以外の方の写真撮影はお断りします。◆場内では携帯電話等の呼出音はお切り下さい。◆都合により出演者に変更がある場合がありますので、あらかじめご了承下さい。◆東隣に有料駐車場(20台程度)があります。満車の場合は通路左寄(数台有料)または、岡崎公園市営地下駐車場をご利用下さい。

【「花 筐」筐之伝 飛び立つばかりの心かな… 作 世阿弥元清】

越前の国 味真野の皇子に愛されていた照日の前のもとへ、皇子よりの使者が 俄かの即位の為の上洛の別れの文と花筐を届ける。昭日の前は、文を読み、つきぬ名残を惜しみ… 中入

皇子は即位し継体天皇となり紅葉見物環幸をする。そこへ帝を慕い狂った照日の前が大和路さして侍女を先にして登場する。警護の臣下に打ち落された花筐を抱き上げ、舞い狂う。

この部分「恐ろしや…クルヒと云います」が、常は扇のみで舞いますが、筐之伝では打ち落されたる花筐を大切に持ちて舞いつくします。又、漢王と李夫人の故事を引き切々たる思恋の情を述べます。

やがて天皇は、その花筐を見て、昔、愛した女と気付き供って玉穂の宮に環幸と成ります。

吉田 潔司

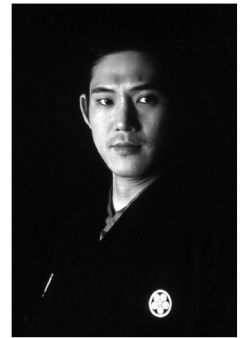
シテ方 観世流準職分
重要無形文化財
能楽(総合指定)保持者
1942(昭和17)年生まれ



- ・幼少より京都にて井上嘉介師、父 吉田佳弘に師事。6歳にて初舞台。同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・昭和47年に独立。石橋・乱・道成寺・砧・求塚・清経(恋の音取)・正尊を開曲。
- ・吉田嘉謡社二代目社主として、平成4年より京都で「花の能」を自主公演するなどの演能活動の一方で、京都府各所(京都・向日・福知山)・広島県各所(尾道・鞆・福山)に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

吉田 篤史

シテ方 観世流準職分
1974(昭和49)年生まれ



- ・幼少より京都にて井上嘉介師、祖父 吉田佳弘、父 潔司に師事。3歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・平成13年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳・道成寺を開曲。
- ・吉田嘉謡社副社主として、平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・岐阜各所・広島各所・東京・大阪に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。
- ・平成23年に地元 向日市にて、ひまわり栄誉賞を授賞。

観能券ご希望の節は、郵便・電話・FAX、又はホームページ・Eメールにてお申込下さい。

お申込先

吉田後援会

TEL&FAX : 075-932-5066

(FAXには本紙をご利用下さい)

Eメール : mai-monchan@s6.dion.ne.jp

住所 : 〒617-0002 京都府向日市寺戸町山縄手27-78

《吉田後援会ホームページ》 <http://www.k5.dion.ne.jp/~hana-noh>

お名前		前売券	
ご住所			枚
お電話番号		学生券	
			枚